

旭川市 GIGA★スクール通信

第9号
令和3年3月 2日

【発行】
旭川市教育委員会
(0166)25-7594

I C Tを効果的に活用した学習活動の充実③

I C Tを活用する学習場面,

- ①「児童生徒が学級全体で一斉に行う学び」
- ②「児童生徒一人一人の学習の状況に応じた個別の学び」
- ③「児童生徒同士が教え合い学び合う協働的な学び」

の中から, 今回は, ③「児童生徒同士が教え合い学び合う協働的な学び」について紹介します!



③児童生徒同士が教え合い学び合う協働的な学び（発表や話し合い）



〈活用例〉

タブレット端末や大型提示装置等を活用し、児童生徒が自分の考えを学級全体やグループに提示して、発表したり話し合ったりします。



〈期待される効果〉

自分の考えを整理して伝え合うことにより表現する力を高めたり、互いの考えを視覚的に共有することにより話し合いを深め、新たな考えに気付いたりすることができます。

【実際の授業では…】

「総合的な学習の時間」の授業では



タブレット端末を使って作成したプレゼンテーションや動画作品、撮影した写真などを大型提示装置等に映し、調べたことを視覚的に発表することで、相手や目的に応じて分かりやすくまとめ表現する力を身に付けることができます。

「体育」の授業では



タブレット端末のカメラ機能を使って、球技のゲームの様子やダンスの発表などを撮影し、個人の動きやチームの連携についてアドバイスし合ったり、新たな動き方などを話し合ったりすることで、よりよい動きを身に付けることができます。

参考資料：「教育の情報化に関する手引（追補版）令和2年6月」（文部科学省）